

日本マクロエンジニアリング学会第30回年次研究大会 報告

2015年2月28日(土) 14:00~17:30 拓殖大学文京キャンパスにて、日本マクロエンジニアリング学会第30回年次研究大会が開催され、盛会裏に終了いたしました。

テーマは「食料・エネルギー備蓄・循環型社会」。

最後の総合討論では活発な意見交換が行われました。

文責: 茂木 創(日本マクロエンジニアリング学会理事
会長)



(左から木村・茂木・立花発表)



(劉発表)

研究発表

1. 「オイルショックとマクロ経済」 木村 正信 (金沢星稜大学)
2. 「緊急時における一般入札と随意契約の社会的費用」 茂木 創 (拓殖大学)
3. 「緊急時における石油供給の円滑化-災害時給油所地下タンク製品備蓄促進事業とその課題」 立花 亨 (拓殖大学)

尚、研究発表1から3は日本学術振興会科学研究費助成「挑戦的萌芽研究」2014年度採択事業「食料・エネルギー備蓄におけるデフラグメンテーション費用」における研究成果の一部です。

4. 「日本における廃車由来の電装品リサイクルの現状と課題」 劉庭秀(東北大学)・齋藤優子(日本学術振興会・東北大学)
5. 「日本における産業廃棄物処理の課題に関する再考察—青森・岩手県境不法投棄事案を事例に—」 齋藤優子(日本学術振興会・東北大学)・劉庭秀(東北大学)・林琴(東北大学)

パネルディスカッション 司会 角田 晋也 企画委員長